

(7) 本時のねらい

5のいくつかの考えをもとに、おはじきを操作したり、たし算をしたりして5の段の九九を構成することができる。

(8) 本時の展開(8/12)

活動のねらい	学 習 活 動	指導・援助・評価
<p>つかむ 問題を理解し、課題をつかむことができる。</p> <p>ふかめる 5のいくつかの段の九九を構成することができる。</p> <p>まとめ 課題解決の方法を交流し、深めることができる。</p>	<p>1 問題をつかみ、内容を理解する。 クッキーが1ふくろに5こずつ入っています。7ふくろぶんでは、なんこでしょう。 ・どんな計算をしたらいいか考える。 →かけ算で求める。 ・そのわけを話す。 →どの袋にも同じ数ずつ入っているから。 →「5個ずつ」「7ふくろぶん」がかけ算の言葉だから。 ・かけ算の式を話す。 →5×7</p> <p>2 課題をつかむ。 5こずつのいくつかの段でクッキーの数を求めよう。 ・5×1 ○○○○○ 5 ・5×2 ○○○○○ ○○○○○ $5 + 5 = 10$ ・以下、5×3、5×4、5×5、5×6、5×7まで取り組む。 ・言葉で話しながら、取り組む。 ・たし算の式をそれぞれ書いて、計算する。</p> <p>3 ワークシートに自分の考えを書いて、できた子はペアで交流する。 ① 5×7は5つずつが7ふくろぶんだから、 $5 + 5 + 5 + 5 + 5 + 5 + 5 =$ とやれば(5を7回たせば)できる。 $5 + 5 + 5 + 5 + 5 + 5 + 5 = 35$ だから $5 \times 7 = 35$ 35こです。 ② 5×7は5ずつが7ふくろぶんだから ○○○○○ ○○○○○ ○○○○○ ○○○○○ ○○○○○ ○○○○○ ○○○○○ 5の7こぶんは35だから $5 \times 7 = 35$ 35こです。 ・おはじきを5つずつの7袋分になるようにならべて考える。</p> <p>4 全体交流をする。 ・おはじきを並べたり、たし算のやり方で説明する。</p> <p>5 8ふくろぶん、9ふくろぶんのクッキーの数を計算で求める。 ・5とびで数えて、40や45の答えを書く。 ・$5 \times 7 = 35$。 5×8は5の8こ分だから、$35 + 5$で40となる。 ・$5 \times 8 = 40$。 5×9は5の9こ分だから、$40 + 5$で45となる。</p>	<p>・問題文に赤線をひいて、大事な言葉を確認する。 ・どの袋にも同じ数ずつ入っていることをおさえる。 ・ワークシートを配る。 ・おはじきは机の上で並べて、答えはワークシートに書かせる。 ・おはじきを置くときに、5×1の時だったら、「5こずつ1つ分で5」のように言葉で言いながら取り組ませる。 ・式を書く時も、同じように言いながら書かせる。 ・できた児童はペア交流を始め、まだの児童は課題追究を続けさせる。 ・ワークシートは、穴埋めに35こ書かせる。 ・おはじきを指さしながら話す。 ・式を指さしながら話す</p> <p>・7袋分までの表を見て、5ずつふえていることに気づかせる。 ・全体交流後に5のいくつかの段という考えでしていることをおさえる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>(評価規準) 5の段の九九を構成することができる。 (評価方法) ワークシートの記述及び操作活動の様子。</p> </div>